

12月6日：利益確定売りに押され急落

海外市場の上昇トレンドを受けてベトナム市場も直近は大幅に反発していたが、6日(火)は利益確定の売りに押されて大きく下落した。

ホーチミン市場のVN指数は、44.98ポイント安の1,048.69ポイント(-4.11%)で引けた。同指数は直近2営業日で57ポイント上昇していた。

多くの銘柄が大幅に下落したことで、市場は弱気なセンチメントに支配された。ホーチミン市場では274銘柄が下落し、うち83銘柄が値幅制限いっぱいまで下げた。反対に上昇銘柄は82銘柄だった。

しかしながら流動性は前日を上回り、売買代金は12%増の23.5兆ドン(9億80百万ドル)、出来高は14億8千株となった。

大型株の上位30銘柄で構成されるVN30指数は56.88ポイント安で、1,054.06ポイント(-5.12%)だった。構成銘柄すべて下落し、うち9銘柄は値幅制限いっぱいの7%安となった。

ハノイ取引所では、HNX指数も下落し8営業日続伸はストップした。同指数は7.16ポイント安の212.8ポイント(-3.26%)だった。ハノイ市場の出来高は1億88百万株、売買代金は2.74兆ドンだった。

直近の大幅上昇で、利益確定の動きが優勢となり、相場の重しとなった。

セクターでは銀行、不動産、製造業が下落トレンドをもたらした。時価総額ではベトナムバンク(VCB)の下落幅が5.88%と最も大きかった。

ビンホームズ(VHM)、投資開発銀行(BID)、VPバンク(VPB)、ホアファットグループ(HPG)なども大きく売られた。これらは皆5.2%超下落し、VPB、HPGは値幅制限いっぱいまで下落した。

この日はアジアの市場の下落にも影響された。FRBが強気な利上げ姿勢を継続するとの見方から、アジアの多くの市場で過去2週間で最大の下落を記録した。

一方で海外資金の流入も続いている。外国人投資家は 8,237 億ドンを両取引所で買い越した。ホーチミン市場では 7,821 億ドン、ハノイ市場では 415 億ドンの買い越し額となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。